

New product release



EVO line Speakers

2020年11月10日受注開始

※受注オーダー品

■About AudioNec

システムを聴くのではなく、音楽を奏でるミュージシャンの息吹や本物の楽器の音に耳を傾けることができるオーディオ・システム。2009年の設立当初から10年以上に渡って"AudioNec（オーディオネック）"が追い求めていることは、この理想の実現に集約することができます。

フランスのオーディオ・ブランドAudioNecは、これまでミュージック・サーバー、アンプ、スピーカー、DSP等幅広いオーディオ・プロダクトをリリースしてきました。これらの製品はパリ近郊でデザイン及びハンドメイドされており、オーディオのみならず伝統的に最高品質の工芸品を生み出してきたフランスの歴史とノウハウが息吹いています。

AudioNecは、様々なバックグラウンドを持ち、理想的なコンビであるFrancisとHerveによって支えられています。

●Francis Chaillet (フランシス・シャイエ) - 創設者、メインオーナー、C.E.O

ルイ・リュミエール国立音響工学学校の修士号を取得。現在も、音響、コンピュータ工学、デジタルエレクトロニクスの分野で数十年に渡り培ってきた確かな専門知識を活かし、全ての製品の構想と製造をリードし続けています。



●Herve Brasebin (エルヴェ・ブラゼバン) - 販売、マーケティング、外交

マーケティングの修士号を取得。様々なコミュニケーション機関でマーケティングと事業開発を担ってきた25年以上の経験を持っています。オーディオマニアであり、同時にラジカルな音楽マニアです。最初にAudioNec "SDV3-S" ミュージック・サーバーを導入し、その後、AudioNec "AA2 Signature" アンプを導入。Francisとの出会いにより、HerveはAudioNecの親会社であるAudioPrimに資本参加することになりました。現在Herveは、AudioNecの販売、マーケティング、外交を担当しています。



■AudioNec History

Francisは、2005年にミュージック・サーバーの開発/研究を始めました。その開発が形になり、生産へと移行し始めた2009年にAudioNecが設立されました。この年、AudioNecはパリのハイエンドショーで初めてミュージック・サーバー"SDV1"を発表しました。しかしこのショーで、ミュージック・サーバーだけのブランドでは成功は難しいことが明らかになりました。

そこで、これまでとは全く異なる思想のスピーカーを開発することにしました。文字通り次元の違うリスニング体験を実現するためのアイデアの模索が始まったのです。

数年の開発期間を経て、AudioNecは2010年のミュンヘンのハイエンドショーで初めて "Answer" スピーカーシステムを出展しました。このスピーカーは、DuoPoleと名付けられた独自のダイポール・ワイドバンド・ドライバーを解放された形でマウントし、特殊なフラット型のバス・ドライバーボックスも搭載。さらに、デジタル領域で室内音響補正を行う"DSPV2 プロセッサ"も搭載していました。非凡な発想から生まれたこのスピーカーからは驚くべきサウンドが鳴り響き、ミュンヘンのハイエンドショーに毎年足を運ぶ多くのオーディオファイルや専門家は、10年経った今でも "Answer" を聴いた時の衝撃をはっきり覚えています。AudioNecの歴史における最初のマスターピースとなった"Answer"は、その後のAudioNecのスピーカー開発における技術的指針となったのです。

次に指針となったのは”Answer”と完璧にマッチングし、音楽のエッセンス、ディテールを純粋な形で高精度に鳴らすことができるAudioNec独自のアンプを開発することでした。そこで、ソリッドステート・アンプの広大ダイナミックレンジ、リニアリティ、ワイドレンジな周波数特性を備えながら、真空管アンプのような艶のある響きを実現するアンプを目指しました。

“AA2”は、贅を尽くした最高のディスクリート・ソリッドステート・アンプとして誕生しました。完全なバランス設計に加え、ディスクリート・コンポーネントを基本とした回路設計、巨大な電源部を搭載し、パワーの限界やストレスを感じることなく、生き生きとした温かみのあるサウンドを実現したのです。



“Answer”



“AA2”

AudioNecの次のステップは、15インチのバスドライバーを搭載したスピーカー”Response”でした。しかし、サウンドは素晴らしいとも、その垢ぬけないルックスからあまり人気がませんでした。

その苦い経験を経て、AudioNecは2011年以降 ”Crystal”、”Diva”、”Diva XL”らの傑作スピーカー群 ”Classic” シリーズのラインアップを次々とリリース。それらのスピーカーは、音だけでなくルックスも洗練され、誰もが魅了される魅力に溢れています。また、この”Classic” シリーズにより「スピーカー + DSP + アンプ」というオーディオ・スピーカー・システムを確立し、現在に至るまでAudioNecのスピーカーは、シグネチャーバージョン（「スピーカー+DSP+アンプ」）という形での販売を行っています。

その後AudioNecは、オーディオファイルがスピーカーを伝統的な方法で楽しめるように、パッシブ・クロスオーバーの開発に着手しました。もちろん、通常のパッシブ型スピーカーでも、AudioNecの特徴である驚異的なスピードとダイナミクス、美しい音色、生き生きとした高い音楽性は、DNAの中になければなりません。理想のパッシブ・クロスオーバーが完成した2014年末以降、AudioNecのスピーカーは、パッシブバージョンとシグネチャーバージョンが選択できるようになったのです。



“Crystal”

2016年、AudioNecは資本金を747,000ユーロに増資し、新しい施設への転換、新たな研究開発、生産ツールの投資を実現。ハイエンド・オーディオ・ブランドとして大きく飛躍しました。新しいドライバーや新しいコンセプトのスピーカー開発を行う万全の体制を経て、2019年、革新的でアップグレード可能なモジュール式キャビネット・フレームを採用したハイエンド・ラウドスピーカー ”EVO line”が生まれたのです。

■AudioNec EVO line

AudioNec / EVO lineは、ローザンヌ工科大学を卒業した若く才能豊かな設計者 Matthieu Brasebin（マシュー・ブラゼバン）の独創的なアイデアからスタートしました。EVO lineは、その名が示す通り”Evolution”/進化するスピーカーというコンセプトが基になっています。そのコンセプトに則り、ハイエンド・スピーカーとしては革新的でアップグレード可能なモジュール式キャビネット・フレームを取り入れることを考案しました。こうして、EVO lineの美しいデザインが生み出されたのです。

しかし、現実に設計する際、問題は山積みでした。キャビネットの固定法、アルミバーを通したケーブルの内部グリッドの設計、強度、バランス、解決しなければならないことは山ほどありました。



美しいデザイン、拡張性、サウンドを同時に実現できたのは、傑作”Classic”シリーズのAudioNecオリジナル・ダイポール・ドライバー”DuoPole”を、リメイクした”DuoPole DS.31™”によるものです。様々なトライを繰り返し、モジュール式キャビネットによるサイズ制限を受けながら、DuoPole ドライバーはさらなる高音質を実現し、新たな次元に達したのです。もちろんこれまで培ったスピーカー開発ノウハウが無ければ、他の問題を解決することができず、素晴らしいコンセプトを具現化することはできなかっただろう。

EVO lineには、”EVO 1”, ”EVO 2”, ”EVO 3”, ”EVO 4”的4つのグレードがあります。どれを購入しても上位グレードにアップグレードが可能で、スターターキットの”EVO 1”から導入し、ダブルウーハーの”EVO 2”、長身の仮想同軸スピーカー”EVO 3”、”EVO 3”に38cmウーハー×4台を搭載したSubtowerを追加した究極の”EVO 4”へと、システムを進化させることができる喜びがあります。EVO lineは、AudioNecが産み出すスピーカーの集大成であると同時に、所有してからも進化する新しいハイエンド・スピーカーの形を提示します。



■EVO line Main Driver : The DuoPole DS.31™

音楽を可能な限り自然に再生するために、AudioNec が開発し、完全ハンドメイドで作られたドライバーが、EVO line に備えられた AudioNec オリジナル・ダイポール・ドライバー”DuoPole DS.31™”です。

スピーカーの歴史を振り返ると、ホーン、コーン、AMT、リボン、静電型（ESL）など、多くのドライバーが開発されてきました。”DuoPole DS.31™”は、その名が示すとおり高さが 31cm しかありませんが、このダブルシリンダー形状のドライバーは、これまでのドライバーチームを凌駕し、特性としては実に 400Hz～20kHz までの帯域再生を可能にしています。その動作は、メンブレン（膜）の外側がサスペンションとして作用し、ダブルシリンダーのメンブレンが重なり合う中央部がホーンの様に動いて音を出すというユニークなもの。

この DuoPole ドライバーの中心となるのは、前後にカーブ状に取り付けられた真っ白いペーパーメンブレンです。このメンブレンは、AudioNec のスピーカーのためにカスタムで製造されており、その製造工程は完全に極秘です。しかしその真っ白で軽やかなルックスの通り軽く薄いメンブレンは、キャビネットにドライバーユニットを納めネジ等で強固に固定する従来のスピーカードライバーと比べ、物理的にも音響的にも、開放感とストレスレスな効果を生み出しています。

●ペーパーメンブレン

DuoPole ドライバーのダイアフラムに当たる真っ白いメンブレン（膜）は、AudioNec のスピーカーのためにカスタムで製造されており、天然紙をベースに特殊な加工を経て作られますがその製造工程は完全に極秘です。非常に軽く薄く作られており、ドーム型ドライバーのようなエッジや補強リブによる物理的な制限を受けずボイスコイルによる歪みも無いため、完全なフリーエアーカつ繊細な動作を可能にしています。

また、DuoPole ドライバーは、アルミフレームの中に納められているだけのため、強固にネジ止めされたドーム型ドライバーに比べ多くの利点があります。キャビネットのカラーレーションの問題が無く、ウェーブガイドの様なコントロールも行いません。メンブレンがもっとも自由に動作できる構造により、ロスなく凄まじい精度で微細なディテールを無色透明に描き出す。繊細かつどこまでも自由なダイアフラムです。

●ネオジム・マグネット

非常に強力な28cmネオジム・マグネットを搭載。28cmの長さの間に1テスラ以上の驚異的な磁束密度を実現し、その感度は100dB (1W/m) に到達。超強力/高能率な動力になっています。超軽量のペーパーメンブレンと相まって、まさに打てば響くような超反応を実現しています。

●ワイドバンド

EVO line の DuoPole ドライバーは、400 Hz から 12kHz に至る広大な再生帯域を受け持ち、その結果、人間の耳が非常に敏感に反応する帯域は全てこの DuoPole ドライバーが受け持ちます。そのため、従来のマルチウェイスピーカーにおける、クロスオーバー付近の帯域の違和感は皆無です。

●優れた拡散性

DuoPole ドライバーは、ダイポール・スピーカーとして前後が完全に開放された構造により、音をほぼ全方向に拡散させます。その結果、リスニングルームに大きなサウンドステージを作り出し、スウィート・スポットから外れても大きくサウンド・バランスが崩れません。

■Scan-Speak Super Tweeter/Woofers

スーパーツィーターとウーハユニットは、長時間のリスニングテストを経て Scan-Speak の最高水準のソフトドーム・ドライバーを厳選。DuoPole ドライバーと完璧なマッチングを図るため、アルミニウム、ベリリウム、セラミックなどのドライバーではなく、ペーパーメンブレンと近い素材のソフトドーム/コーンユニットが選ばれました。

■内部配線/スピーカーターミナル

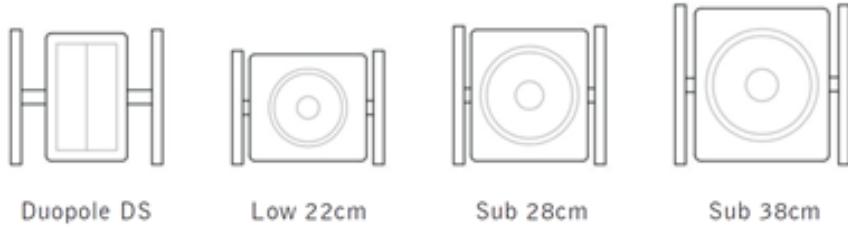
内部配線は、長時間のリスニングテストを経て同フランス Esprit 社の単結晶素材 Pure Copper 6N (99,99995 %) 素線で構成されたケーブルを採用。またスピーカーターミナルには、Furutech 社のロジウムメッキ燐青銅の端子を採用。高純度・高品質のパーツを採用し、ピュアなサウンドの一助になっています。

■独立したキャビネット

EVO line は、DuoPole ドライバーとウーハユニットが納められたローキャビネットが、強固なブラック・アルミフレームに完全に分離された状態で搭載されています。全てのユニットがオールインワンでキャビネットに納められたスピーカーに比べ、各ドライバー間の内部波による影響は皆無です。また、内部配線もフレーム内に納められており、美しい外観の一助となっています。また、DuoPole ドライバーは、ダイポール・スピーカーとして機能し、前後に音が拡散されますが、他のダイポール・スピーカーと同様に、リア側を壁に近づけすぎないようにすることができます。EVO line のローキャビネットは深く成型されており、そのため壁に近づき過ぎることはありません。

■アップグレード (EVO1→EVO2→EVO3→EVO4)

EVO line は、全てのユニットがオールインワンのキャビネットに納められたスピーカーと違い、強固なフレームによる連結式のユニット構成により、EVO line のスターターキットである 3way の「EVO 1」から、巨大な 38cm ウーハーを搭載したアクティブ・サブタワーを備える「EVO 4」まで、いつでも購入後のアップグレードが可能です。



■Wireworld Eclipse 8 – Jumper Cable

バイワイヤ仕様である日本国内仕様の EVO line には、ノンカラーレーションのサウンドに定評がある Wireworld Eclipse 8 / ジャンパーケーブルが標準で付属。EVO line のパフォーマンスを最大限に引き出します（型番：JPEC8 SPDS/4P ※標準スペードプラグ 購入時にバナナ端子に変更可能）。



■EVO 1

●Topics

- ・26mm Scan-Speak製ソフトドームツィーター×1
- ・DuoPole DS.31™ ドライバー×1
- ・22cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×1

●アップグレード

・EVO 1→EVO 2 : ¥ 3,000,000 - (税別/ペア)

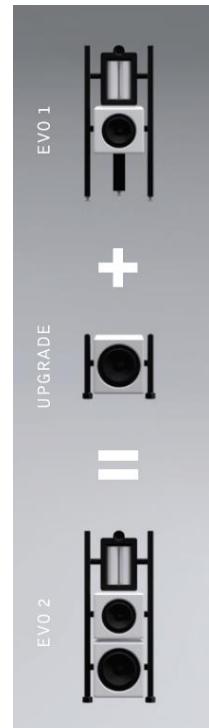
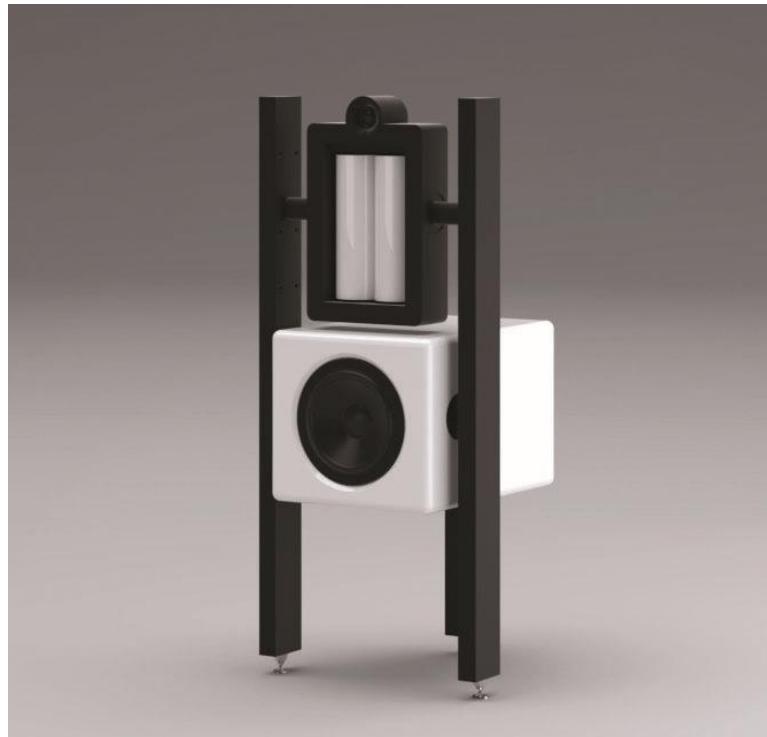
28cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×1を追加して、EVO 2にアップグレードが可能。

■EVO 1

標準価格：¥ 3,000,000 - (税別/ペア)

型番：EVO1 PW WH (Color: White/ホワイト), EVO1 PW BK (Color: Black/ブラック)

- 形式：3-way・バスレフ型
- 周波数特性：35Hz – 45,000Hz
- 能率：92dB (2.83V@1m/±1dB)
- インピーダンス：6Ω
- クロスオーバー周波数：400Hz / 12,000Hz (12dB/oct)
- ユニット：26mm Scan-Speak 製ソフトドームスーパーツィーター×1
DuoPole DS.31™ ドライバー×1
22cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×1
- 寸法：W460 × H970 × D470 mm
- 重量：40.0kg/台
- 仕上げ：White (WH), Black (BK)
- 備考：バイワイヤ対応スピーカーターミナル



■EVO 2

●Topics

- ・26mm Scan-Speak製ソフトドームツィーター×1
- ・DuoPole DS.31™ ドライバー×1
- ・22cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×1
- ・28cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×1

●アップグレード

・EVO 2→EVO 3：¥6,000,000 - (税別/ペア)

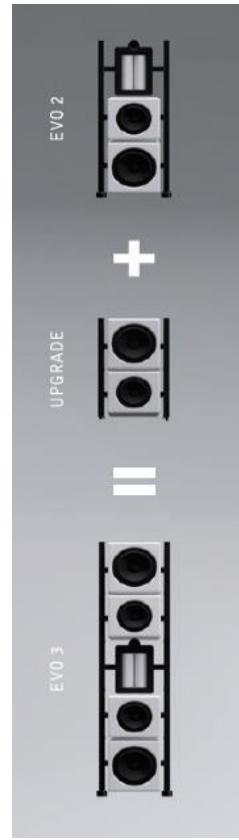
22cm/28cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×各1を追加して、EVO 3にアップグレードが可能。

■EVO 2

標準価格：¥5,800,000 - (税別/ペア)

型番：EVO2 PW WH (Color: White/ホワイト), EVO2 PW BK (Color: Black/ブラック)

- 形式：4-way・バスレフ型
- 周波数特性：18Hz – 45,000Hz
- 能率：91dB (2.83V@1m/±1dB)
- インピーダンス：6Ω
- クロスオーバー周波数：35Hz / 400Hz / 12,000Hz (12dB/oct)
- ユニット：26mm Scan-Speak製ソフトドームスーザンツィーター×1
DuoPole DS.31™ ドライバー×1
22cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×1
28cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×1
- 寸法：W460 × H1,150 × D470 mm
- 重量：62.0kg/台
- 仕上げ：White (WH), Black (BK)
- 備考：バイワイヤ対応スピーカーターミナル



EVO 3

●Topics

- ・ 26mm Scan-Speak製ソフトドームツィーター×1
- ・ DuoPole DS.31™ ドライバー×1
- ・ 22cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×2
- ・ 28cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×2

●アップグレード

- ・ EVO 3→EVO 4 : ¥ 18,800,000 - (税別/ペア)

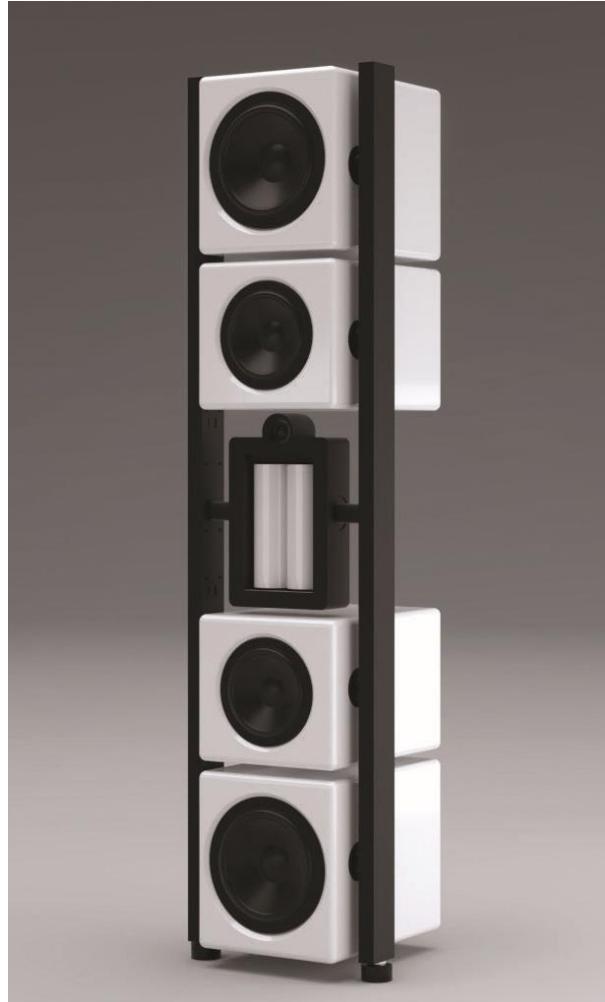
38cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×4を搭載した"Sub Tower"を追加して、EVO 4にアップグレードが可能。

EVO 3

標準価格：¥ 11,500,000 - (税別/ペア)

型番：EVO3 PW WH (Color: White/ホワイト) , EVO3 PW BK (Color: Black/ブラック)

- 形式：4-way・バスレフ型
- 周波数特性：18Hz – 45,000Hz
- 能率：92dB (2.83V@1m/±1dB)
- インピーダンス：8Ω
- クロスオーバー周波数：35Hz / 400Hz / 12,000Hz (12dB/oct)
- ユニット：26mm Scan-Speak製 ソフトドームスーパツィーター×1
DuoPole DS.31™ ドライバー×1
22cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×2
28cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×2
- 尺寸：W460 × H1,860 × D470 mm
- 重量：110.0kg/台
- 仕上げ：White (WH) , Black (BK)
- 備考：バイワイヤ対応スピーカーターミナル



■EVO 4

●Topics

○Main Tower

- ・26mm Scan-Speak製ソフトドームツィーター×1
- ・DuoPole DS.31™ ドライバー×1
- ・22cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×2
- ・28cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×2

○Sub Tower

- ・38cm Scan-Speak製ソフトコーンウーハー×4

■EVO 4

標準価格：¥30,000,000 - (税別/ペア)

型番：EVO4 WH (Color: White/ホワイト) , EVO4 BK (Color: Black/ブラック)

○Main Tower (EVO 3)

- 形式：4-way・バスレフ型
- 周波数特性：18Hz - 45,000Hz
- 能率：92dB (2.83V@1m/±1dB)
- インピーダンス：8Ω
- クロスオーバー周波数：35Hz / 400Hz / 12,000Hz (12dB/oct)
- ユニット：26mm Scan-Speak 製ソフトドームスーパーツィーター×1
DuoPole DS.31™ ドライバー×1
22cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×2
28cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×2
- 寸法：W460 × H1,860 × D470 mm
- 重量：110.0kg/台
- 仕上げ：White (WH) , Black (BK)
- 備考：バイワイヤ対応スピーカーターミナル

○Sub Tower

- 形式：アンプ内蔵・ウーハーユニット
- 周波数特性：15Hz - 25Hz
- 内臓アンプ：2,500 W × 4
- ユニット：38cm Scan-Speak 製ソフトコーンウーハー×4
- 入力系統：バランス (XLR)
- 寸法：W570 × H1,860 × D620 mm
- 重量：240.0kg/台
- 仕上げ：White (WH) , Black (BK)

